

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2・1・1								
② 施策名	健康づくりの充実	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎	○	-	○
③ 目標	健康診断や健康・体力づくり対策に満足している町民の割合		病院や診療所など医療施設の充実に満足している町民の割合						
④ 現状と課題	<p>◆ ライフスタイルの変化による不適切な食生活や運動不足、ストレスなどによって生活習慣病の要因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が増加傾向にあります。また、高齢になり脳卒中や認知症などを発症することによって、要介護者が年々増加しています。その対策として、町民誰もができるかぎり心身ともに健康で自立した生活を送るために、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を図ることが重要な課題となっています。</p> <p>◆ 本町では、「丸森町健康日本21地域計画推進委員会」が中心となって町民、行政、各種団体が協働で健康づくり活動に取り組み、一定の成果をあげています。</p> <p>◆ 本町の医療は、「国民健康保険丸森病院」のほか、民間医療機関が地域の1次医療を担う施設として機能しています。また、一部の山間地域においては、診療所を設けて定期的に診療を行っています。</p> <p>◆ 「医療施設の充実」や「休日や夜間診療対策」は、町民ニーズが高いものになっています。</p> <p>◆ 近年、急激な高齢化や生活習慣病などによって、医療機関の受診者や救急患者が増加していることから、「国民健康保険丸森病院」の充実や、民間医療機関との連携を引き続き行っていくとともに、町民に身近な医療サービスの提供に向けて、休日や夜間、そして災害時における救急医療を含む地域医療体制の整備充実を図るため、広域的な連携強化が求められています。</p>		施策の内容	疾病を予防するための予防接種や疾病の早期発見・早期治療に向けた各種の健診(検診)を実施するとともに、健康リーダーや関係団体との協働により地域での健康教室や健康相談などに積極的に取り組んでいくことで、地域ぐるみでの健康づくりを推進します。					

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年[男]	1.58	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.23	1.4	1.23
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年[女]	3.66	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	1.14	3.5	1.14
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年[男]	1.58	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40	1.23	1.4	2.85
平均寿命と健康寿命の差(不健康な期間)	年[女]	3.66	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	1.14	3.5	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	74,555	84,537	216,302	185,527	143,919	114,020

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	17	事業	平均点
●成果	A	3事業 (17.6%)	0.9
	B	10事業 (58.8%)	
	C	3事業 (17.6%)	
未実施	1事業	(5.9%)	
●コスト	A	6事業 (35.3%)	1.2
	B	8事業 (47.1%)	
	C	2事業 (11.8%)	
未実施	1事業	(5.9%)	
●進捗率	A	4事業 (23.5%)	1.0
	B	9事業 (52.9%)	
	C	3事業 (17.6%)	
未実施	1事業	(5.9%)	

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 検診未受診者、予防接種未接種者への啓発・周知を行い、受診率、接種率の向上を図るとともに、各種の健康づくり施策を実施していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2・1・2	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	保健・医療体制の充実			-	-	○
③ 目標	丸森町は子育てしやすいまちだと感じる保護者の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ ライフスタイルの変化による不適切な食生活や運動不足、ストレスなどによって生活習慣病の要因となるメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が増加傾向にあります。また、高齢になり脳卒中や認知症などを発症することによって、要介護者が年々増加しています。その対策として、町民誰もができるかぎり心身ともに健康で自立した生活を送るために、生活習慣病を予防し、健康寿命の延伸を図ることが重要な課題となっています。</p> <p>◆ 本町では、「丸森町健康日本21地域計画推進委員会」が中心となって町民、行政、各種団体が協働で健康づくり活動に取り組む、一定の成果をあげています。</p> <p>◆ 本町の医療は、「国民健康保険丸森病院」のほか、民間医療機関が地域の1次医療を担う施設として機能しています。また、一部の山間地域においては、診療所を設けて定期的に診療を行っています。</p> <p>◆ 「医療施設の充実」や「休日や夜間診療対策」は、町民ニーズが高いものになっています。</p> <p>◆ 近年、急激な高齢化や生活習慣病などによって、医療機関の受診者や救急患者が増加していることから、「国民健康保険丸森病院」の充実や、民間医療機関との連携を引き続き行っていくとともに、町民に身近な医療サービスの提供に向けて、休日や夜間、そして災害時における救急医療を含む地域医療体制の整備充実を図るため、広域的な連携強化が求められています。</p>			施策の内容	健康づくりの推進施設である「保健センター」について年間を通して活用できるよう適正な管理運営を行うとともに、様々な健康づくり活動の支援に向けた環境整備を進め、健康づくりのための支援を推進します。また、本町医療の中心施設である「国民健康保険丸森病院」の診療機能の維持向上を図りながら、仙南地域の医療・介護施設との連携を強化し、地域医療体制の整備を推進します。	

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)	
休日当番医実施日数	日	70	70	70	70	70	70	1.03	70	1.03
			75	72	72	72	72	1.03		
丸森町保健センター開所日数	日	248	248	145	246	248	246	1.00	248	1.00
			102	130	246	248	246	1.01		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)	
							#DIV/0!		#DIV/0!	
							#DIV/0!		#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	508,056	138,895	89,501	104,166	128,960	326,240

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	5	事業	平均点
●成果	A	4事業 (80.0%)	1.6
	B	事業 (0.0%)	
	C	1事業 (20.0%)	
未実施	事業 (0.0%)		
●コスト	A	4事業 (80.0%)	1.8
	B	1事業 (20.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業 (0.0%)		
●進捗率	A	4事業 (80.0%)	1.6
	B	事業 (0.0%)	
	C	1事業 (20.0%)	
未実施	事業 (0.0%)		
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.7

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 医師会、歯科医師会、医療機関、仙南他市町等と連携し、医療の安定的確保・提供に引き続き取り組む。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2・2・1								
② 施策名	元気と生きがいづくりを応援する体制の充実	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎	-	-	○
③ 目標	元気高齢者の割合	施策の内容 高齢者の健診を行うとともに、介護や支援が必要とならないよう介護予防のための教室等を開催し、健康の維持増進を図ります。また、高齢者の創作活動の拠点施設である「高齢者生産活動センター」の運営や就業と生きがい活動への支援を行うことにより、高齢者の積極的な社会参加による生きがいづくりを推進します。							
④ 現状と課題	◆ 本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合(平成22年国勢調査)は国(23.0%)や宮城県(22.3%)よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。 ◆ 少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。 ◆ 高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活ができるようになるため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。 ◆ 高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。								

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
丸森町シルバー人材センター会員数	人	157	160	170	170	170	170	0.97	165	1.00
			163	160	153	165		0.97		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	45,510	34,873	37,784	36,392	42,565	42,565

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	6	事業	平均点
●成果	A	3事業 (50.0%)	1.5
	B	3事業 (50.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●コスト	A	3事業 (50.0%)	1.5
	B	3事業 (50.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●進捗率	A	3事業 (50.0%)	1.5
	B	3事業 (50.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.5

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 高齢者の健診、検診について、検査が必要なことの啓発活動・広報に努め、受診率を向上させて疾病の早期発見・早期治療につなげる。一般介護予防事業については、高齢者が介護予防の必要性に気づき、継続的に取り組むことができる事業を検討する。シルバー人材については、会員確保のための募集等について支援する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2-2-2	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	安心な生活をかなえる支援の充実			-	-	○
③ 目標	元気高齢者の割合			支援を必要とする高齢者に対し、一人ひとりの状態を踏まえた最適なサービスを提供するとともに、生活機能を維持・向上させるための介護予防に関するプログラムや生活上の不安を解消するための相談、そして家族への支援活動等に積極的に取り組み、地域における安心した生活の実現を目指します。		
④ 現状と課題	◆ 本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合（平成22年国勢調査）は国（23.0%）や宮城県（22.3%）よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。 ◆ 少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。 ◆ 高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活することができるようにするため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。 ◆ 高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。					
⑤ 施策の内容						

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
新規の要介護認定者の平均年齢	歳	83.4	84.0	84.1	84.2	84.3	84.4	0.99	84.5	0.99
要介護認定者中の認知症発症者に占める軽度者(ランクⅡ以下)の割合	%	58.0	60.0	60.6	63.0	63.0	63.0	1.07	63	1.07
			67.9	66.4	65.8	67.2		1.07		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
新規の要介護認定者の平均年齢	歳	83.4	84.0	84.1	84.2	84.3	84.4	0.99	84.5	0.99
要介護認定者中の認知症発症者に占める軽度者(ランクⅡ以下)の割合	%	58.0	60.0	60.6	63.0	63.0	63.0	1.07	63	1.07
			67.9	66.4	65.8	67.2		1.07		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	121,133	120,663	122,847	121,627	143,043	121,143

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	12	事業	平均点
●成果 A	6事業	(50.0%)	1.4
B	5事業	(41.7%)	
C	1事業	(8.3%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト A	11事業	(91.7%)	1.8
B	事業	(0.0%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	1事業	(8.3%)	
●進捗率 A	8事業	(66.7%)	1.7
B	4事業	(33.3%)	
C	事業	(0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	1.6

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 支援を必要とする高齢者等に対し、一人ひとりの状態に応じた適切な支援を提供することにより、できる限り自立し、安心して生活できるための事業を推進していく。また、被災者に対し、町営住宅等の完成に伴い、地域移行が進むことから、地域定着の見守り支援を行い、安定した日常の取戻しについて支援する。最終再確認後の課題のある世帯へのフォローも併せて行う。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2-2-3							
② 施策名	サービスの総合的推進体制の充実	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎	○	○
③ 目標	元気高齢者の割合							
④ 現状と課題	<p>◆ 本町は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合(平成22年国勢調査)は国(23.0%)や宮城県(22.3%)よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。</p> <p>◆ 少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。</p> <p>◆ 高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活ができるようするため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。</p> <p>◆ 高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。</p>		施策の内容	<p>行政をはじめとする関係者間の連携・協力のもと、支援を必要とする高齢者に適切なサービスを継続して提供していくための仕組みである「地域包括ケアシステム」を構築して適切に運営することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するための体制整備を推進します。</p>				

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
地域ケア会議開催回数	回	11	22	13	13	10	10	0.60	22	0.27
			6	10	7	6		0.60		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
地域ケア会議開催回数	回	11	22	13	13	10	10	0.60	22	0.27
			6	10	7	6		0.60		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	4,133	3,942	4,882	11,422	8,321	8,321

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	4	事業	平均点
●成果	A	1事業 (25.0%)	1.3
	B	3事業 (75.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	3事業 (75.0%)	1.8
	B	1事業 (25.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	1事業 (25.0%)	1.3
	B	3事業 (75.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.4			

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 地域包括ケアシステムの実現に向けて、関係機関が連携し、高齢者等に必要の支援を提供できる体制整備を推進していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2・3・1							
② 施策名	障がい者の生活支援の充実	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎		
③ 目標	障がい者やボランティア活動の福祉サービスに満足している市民の割合						-	-
④ 現状と課題	<p>◆ 障がい福祉サービスは、平成18年4月以降、それまでの障がい種別ごとの提供から障がい種別に関係なく提供される共通のサービスに変わりました。それによって、障がいを持った方を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化していることから、多様な施策展開ときめ細かな支援が必要になっています。</p> <p>◆ 町内において福祉活動を行っている団体等には、その中心的役割を担っている「民生委員児童委員」や「丸森町社会福祉協議会」をはじめ、住民自治組織、老人クラブ、ボランティア組織などがありますが、情報共有や相互連携が十分でない状況にあります。</p> <p>◆ 今後は、障がいを持った方が豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、多様化するニーズに対応し、地域ぐるみで支え合っていくための関係する機関や団体間の協力体制の整備が求められています。</p>			施策の内容	障がい者が生活・療養する上で必要となる様々なサービスの提供や経済面での支援を行うとともに、関係する機関や各種団体との連携による各種の情報提供や相談等の活動を通して、障がい者が地域で安心して暮らすための支援を推進します。			

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
福祉施設利用者中一般就労に移行した障がい者数	人	0	2.0	2.4	3.0	3.0	3.0	0.00	4	0.00
			0.0	3.0	1.0	0.0		0.00		
								#DIV/0!		
<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI</p>										
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!	#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	340,038	383,285	402,235	414,400	439,780	434,869

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎ 【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」

## 構成事務事業の評価結果

事務事業別	6	事業	平均点
●成果	A	5事業 (83.3%)	1.8
	B	1事業 (16.7%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●コスト	A	6事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●進捗率	A	5事業 (83.3%)	1.8
	B	1事業 (16.7%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.9

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	【説明欄】 障害者が生活する上で必要となる各種サービスを提供し、併せて経済的支援や家族の負担軽減を図るとともに、引き続き関係機関等と連携して、障害があっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援していく。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2・3・2								
② 施策名	地域福祉活動の支援	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎	-	-	○
③ 目標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合								
④ 現状と課題	<p>◆ 障がい福祉サービスは、平成18年4月以降、それまでの障がい種別ごとの提供から障がい種別に関係なく提供される共通のサービスに変わりました。それによって、障がいを持った方を取り巻く社会情勢や環境は大きく変化していることから、多様な施策展開ときめ細かな支援が必要になっています。</p> <p>◆ 町内において福祉活動を行っている団体等には、その中心的役割を担っている「民生委員児童委員」や「丸森町社会福祉協議会」をはじめ、住民自治組織、老人クラブ、ボランティア組織などがありますが、情報共有や相互連携が十分でない状況にあります。</p> <p>◆ 今後は、障がいを持った方が豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向けて、多様化するニーズに対応し、地域ぐるみで支え合っていくための関係する機関や団体間の協力体制の整備が求められています。</p>			施策の内容	地域福祉の担い手である社会福祉団体やボランティア組織等の多様・多岐にわたる活動を様々な面からサポートし、住民の積極的な参加による地域社会の醸成を進めます。				

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
ボランティア連絡会登録団体数	人	24	26	26	26	26	23	0.65	27	0.63
			26	26	25	17		0.74		
ボランティア連絡会登録会員数	人	526	600	610	610	610	344	0.46	650	0.43
			487	482	476	280		0.81		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
							#DIV/0!		#DIV/0!	
							#DIV/0!		#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	47,140	52,024	49,056	54,806	52,097	52,097

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	1	事業	平均点
●成果	A	1事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●コスト	A	1事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●進捗率	A	1事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			2.0

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 社会福祉団体やボランティア組織等の活動を引き続き支援し、誰もがいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進する。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2・4・1							
② 施策名	国民健康保険の健全な運営	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎		
③ 目標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合							
④ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。</li> <li>国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険料等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。</li> <li>本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。</li> </ul>			施策の内容	国民健康保険制度についての住民理解を深めるとともに、適正な医療費等の給付や確実な国民健康保険料の賦課・徴収に取組み、国民健康保険事業の安定した運営を行います。			

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
国民健康保険料収納率(現年度分)	%	95.30	96.00	96.00	96.00	96.00	96.00	1.02	96.5	1.01
			96.20	97.59	97.85	97.82		1.02		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	1,191,482	1,310,957	1,327,383	1,289,898	1,322,465	1,322,465

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業別	7	事業	平均点
●成果	A	2事業 (28.6%)	0.9
	B	2事業 (28.6%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	3事業 (42.9%)	
●コスト	A	6事業 (85.7%)	1.9
	B	1事業 (14.3%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	事業 (0.0%)	
●進捗率	A	2事業 (28.6%)	0.9
	B	2事業 (28.6%)	
	C	事業 (0.0%)	
	未実施	3事業 (42.9%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			1.2

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 ・引き続き公正に審査を行い、適正に事務手続きを行う。 ・被保険者への保険給付等を円滑に実施するとともに、生活習慣病の発症や重症化の予防につながる保健事業の推進等により、医療費の適正化に努める。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2-4-2	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	後期高齢者医療の健全な運営			-	-	-
③ 目標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。</p> <p>◆ 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険料等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。</p> <p>◆ 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。</p>					
⑤ 施策の内容	「宮城県後期高齢者医療広域連合」との連携・協力により、後期高齢者の健康保持と適切な医療の確保に努めるとともに、後期高齢者医療保険料の適正な賦課・徴収に取組み、後期高齢者医療の安定した運営を行います。					

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
後期高齢者医療保険料収納率(現年度分)	%	99.9	99.90	99.90	99.90	99.90	99.90	1.00	100	1.00
			100.04	100.20	100.00	99.90		1.00		
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!		#DIV/0!
								#DIV/0!		#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	1,890	1,684	1,529	2,572	2,185	2,185

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>
⑩ 今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	2	事業	平均点
●成果	A	1事業 (50.0%)	1.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	1事業	(50.0%)	
●コスト	A	2事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	1事業 (50.0%)	1.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	1事業	(50.0%)	平均点
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.3			

⑪ 次年度以降の方針(主担当課)	現状維持	<p>【説明欄】</p> <p>・引き続き、宮城県後期高齢者医療広域連合と連携・協力し、保険料の適正賦課及び迅速な還付処理に努める。</p>
委員会評価	現状維持	<p>【委員会意見欄】</p> <p>担当課評価のとおり。</p>

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2-4-3							
② 施策名	介護保険の健全な運営	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎	-	-
③ 目標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合							
④ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。</li> <li>国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険税等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。</li> <li>本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。</li> </ul>			施策の内容	介護保険制度についての住民理解を深めるとともに、適正な介護給付費等の給付や確実な介護保険料の賦課・徴収に取組み、介護保険事業の安定した運営を行います。			

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
介護保険料収納率(現年度分)	%	99.7	99.80	99.80	99.80	99.80	99.80	1.00	100	1.00
			99.90	100.00	99.90	99.70		1.00		
									#DIV/0!	#DIV/0!
-----										
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!	#DIV/0!	

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	1,679,807	1,966,223	1,919,501	1,799,863	1,939,243	1,923,854

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要
⑩ 今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業数	5	事業	平均点
●成果	A	4事業 (80.0%)	1.8
	B	1事業 (20.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
-----			
●コスト	A	4事業 (80.0%)	1.8
	B	1事業 (20.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
-----			
●進捗率	A	4事業 (80.0%)	1.8
	B	1事業 (20.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出			
1.8			

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】 ・引き続き、介護保険事業を安定運営するため、今後も適正な保険料の賦課及び迅速な還付処理に努める。
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】 担当課評価のとおり。

# 施策評価表

令和4年度分

① 施策コード	2・4・4	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
② 施策名	その他の社会保障の提供			-	-	-
③ 目標	安心して社会保障を受けられていると感じている人の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 医療保険や介護保険、年金といった社会保障制度は、町民誰もが不安を感じることなく生活するための基盤となることから、常に安定した制度運営を行う必要があります。</p> <p>◆ 国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の運営における財源及び公平性の確保のため、保険料等の滞納が生じないよう収納対策の推進が求められています。</p> <p>◆ 本町では、現年度課税分の収納率が前年度水準を維持できるよう、収納特別対策本部を設置して訪問・督促などの徴収活動を実施するとともに、滞納者に対しては、税務署や県税事務所などと連携して差押などの法的手段を講じながら滞納額の解消に努めており、今後も徴収活動を強化しながら収納対策を継続していく必要があります。</p>			施策の内容	国民年金制度に関する周知を図るとともに相談業務等を行い、国民年金法に基づく事務を行います。また、生活困窮者等に対する経済的支援を行い、安定した生活の確保を推進します。	

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
国民年金相談業務件数	件	1,298	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	0.38	1,300	0.38
			607	481	441	495		0.38		
								#DIV/0!		
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI										
まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPI	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					計画目標値(R6年度)		
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	上段:達成率(R4実績/R4目標) 下段:達成率(R4実績/R5目標)	R6年度	達成率(R4実績/R6目標)
								#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

⑦ 構成事務事業の事業費の合計	R元年度	R2年度	R3年度	令和4年度	令和5年度(計画)	令和6年度(計画)
	5,059	1,770	1,974	1,603	2,193	2,193

## 取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	「略」	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>
⑩ 今後の取組	「略」	

## 構成事務事業の評価結果

事務事業	3	事業	平均点
●成果	A	1事業 (33.3%)	1.3
	B	2事業 (66.7%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●コスト	A	3事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	
●進捗率	A	3事業 (100.0%)	2.0
	B	事業 (0.0%)	
	C	事業 (0.0%)	
未実施	事業	(0.0%)	

※平均点は「A」2点、「B」1点、「C」0点として算出

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	<p>【説明欄】</p> <p>引き続き、町民誰もが安心して社会保障を受けられるよう制度の運営を行うとともに、公平性の確保のため収納対策の推進に努める。</p>
委員会評価	現状維持	<p>【委員会意見欄】</p> <p>担当課評価のとおり。</p>